

茂原市まちづくり条例制定記念フォーラム
参加者アンケート結果

平成 27 年 12 月 12 日(土)

会場:茂原市役所市民室

1.開催概要

平成 27 年 12 月 12 日(土) 13 時 30 分～16 時

会場:茂原市役所市民室

主催:まちづくり茂原市民ネット・茂原市

協賛:Mobara みらい応援団

第 1 部:

基調講演

「まちづくり条例の制定にあたって

～生きられるコミュニティづくりに向けて～」

講師:千葉大学法政経学部准教授 関谷 昇氏

第 2 部:

パネルディスカッション

「市民がつくるまち もばら～まちづくり条例をどう生かすか～」

参加者総数 98 名(登壇者・スタッフ含む)

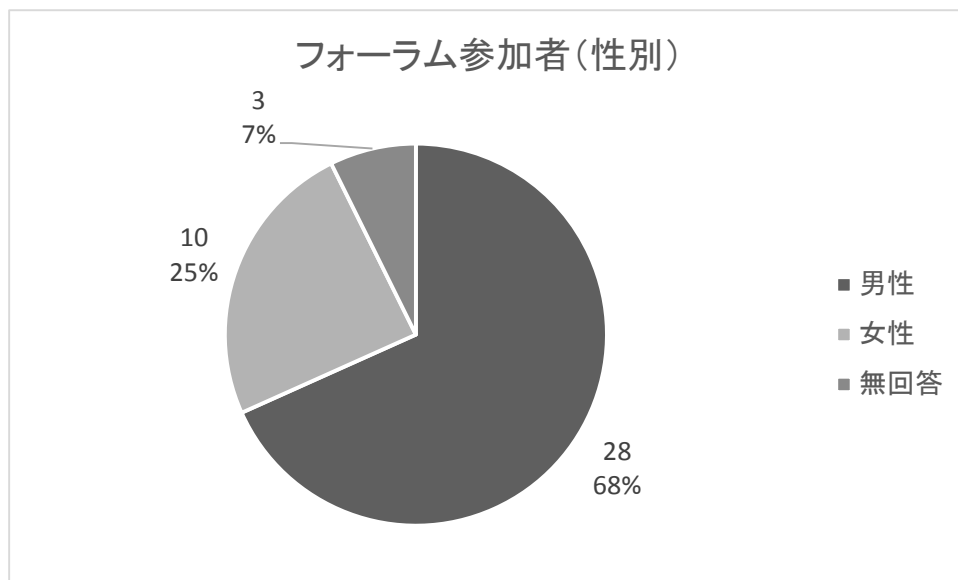
一般参加者 72 名

有効回答数 41 件

2.アンケート集計結果

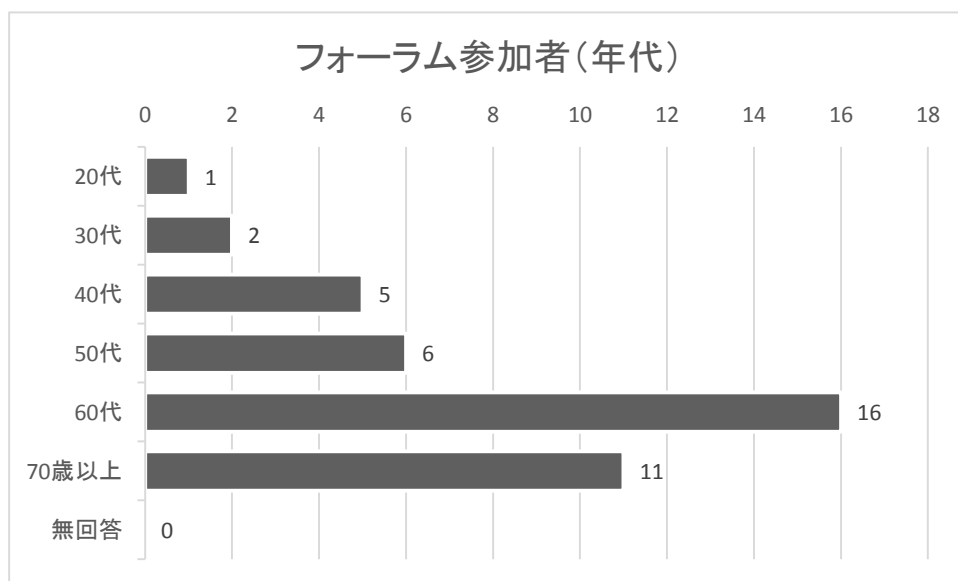
(1) 来場者の属性

① 性別



回答があった 41 件のうち、男性が 28 名、女性が 10 名、回答なしが 3 名でした。

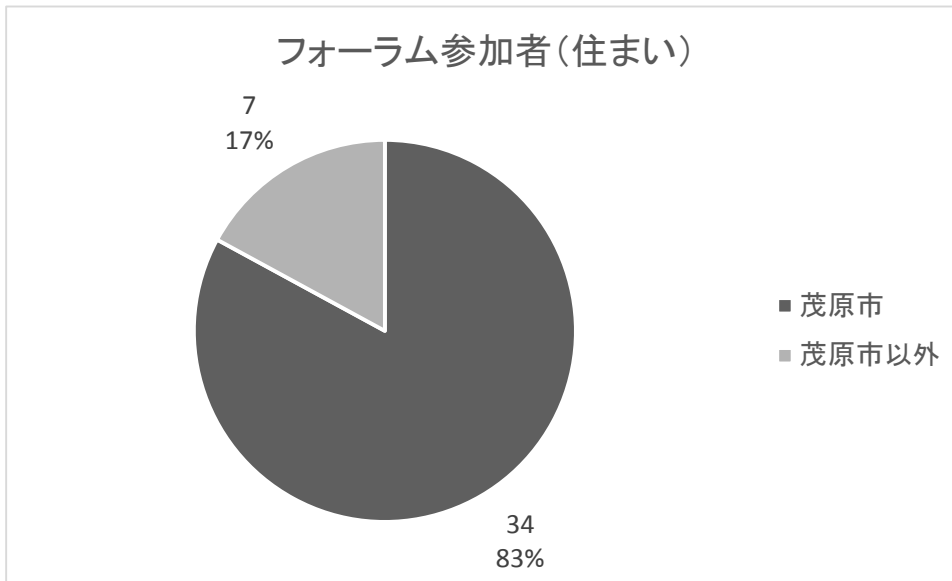
② 年齢別



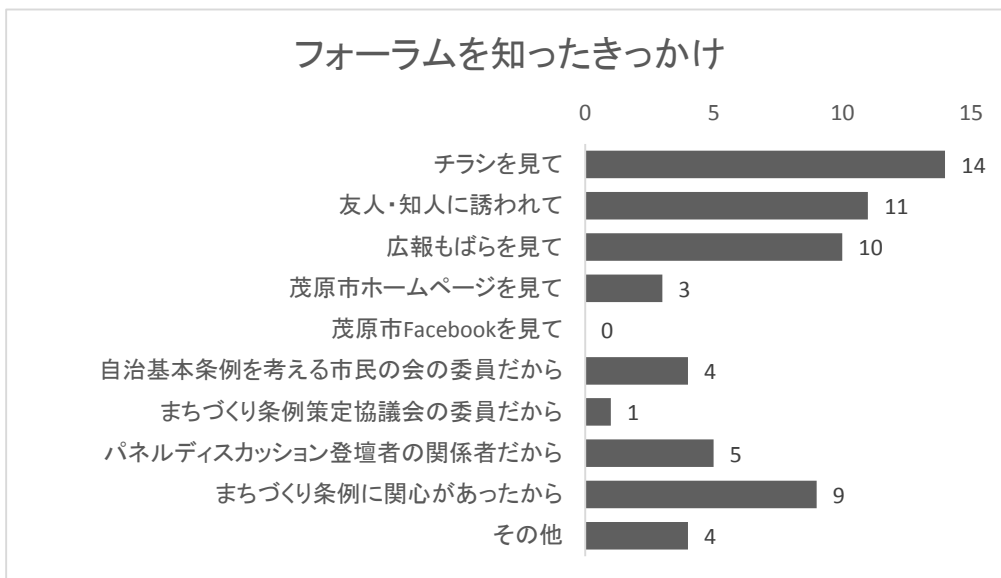
60代が最も多く、次いで 70代、50代の順となりました。

③居住地別

8割が市内からの参加でした。

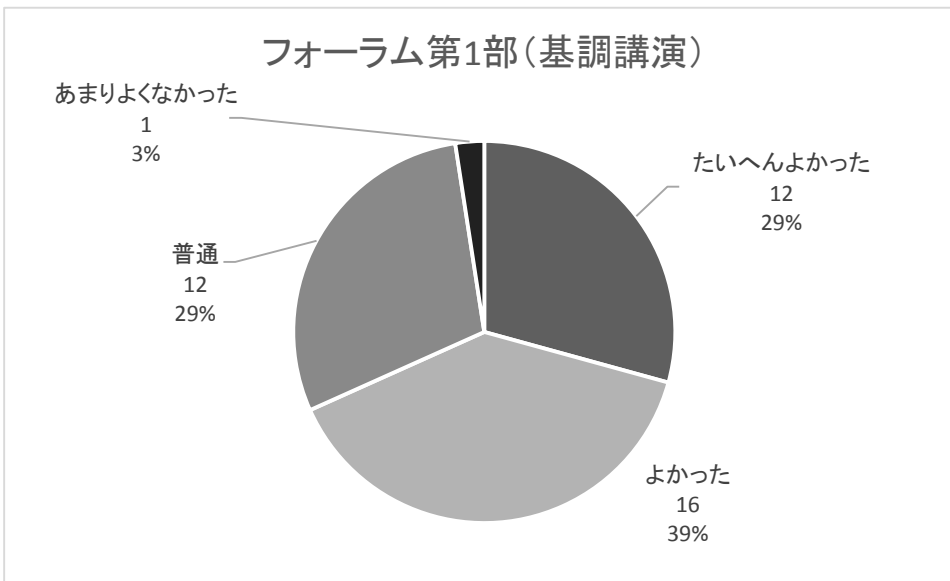


(2) フォーラムを知ったきっかけ (複数回答)



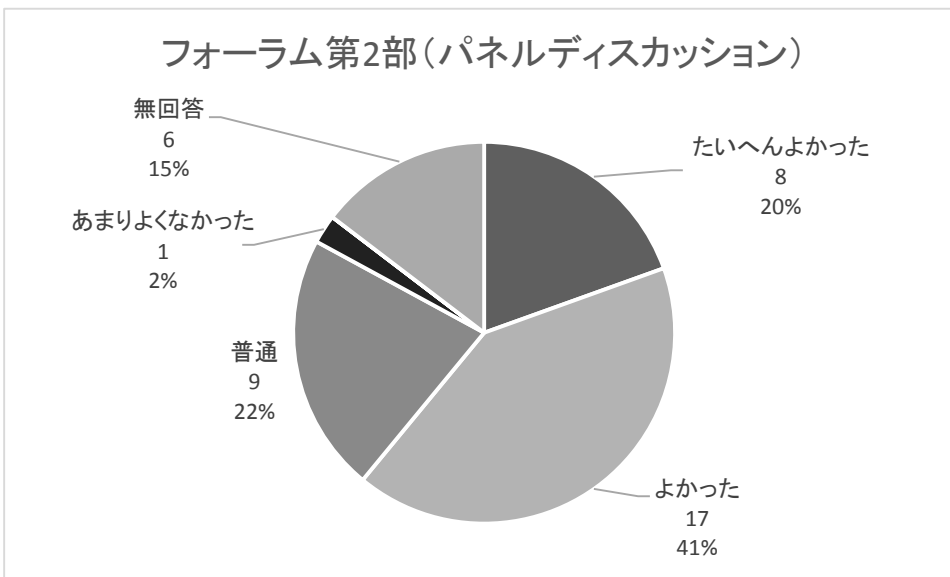
「チラシを見て」と回答した方が最も多く、次いで「友人・知人に誘われて」「広報もばらを見て」「まちづくり条例に関心があったから」となりました。

(3) 第一部（基調講演）の感想



「大変よかった」、
「よかった」と回答
した方が約7割でし
た。

(4) 第二部（パネルディスカッション）の感想



「大変よかった」
「よかった」と回答
した方が約6割でし
た。

3.主な自由記述

■第一部（基調講演）について

- まちづくり条例などできても何の役に立つのかと思っていたが、関谷先生のお話を聞いて、「よく運営すれば」有益なものと思えた。茂原にそれができるかは別問題だが（60代・女性）
- フォーラムの資料により、関谷准教授の説明は十分理解できた。行政機関が中心になって地域社会をリードしてきたが、地域住民（市民）との協働が必要とされているが、意識の変革が求められている（慣れていない、早い時期にスタートする）（70歳以上・男性）
- 棚の上であった条例…少し理解できました。まだまだ横の連携は難しい。縦割りシステムはどこも同じですが。今後、何をどうしていけばよいかを学んでいきたい（60代・女性）
- 本日、西部社会福祉協議会において、自治会での生活（高齢者向け）の見守り隊的な話がありました。よく考えてみると、自治会加入率は61%であり、共助の話をされても対応が難しい。問題は、行政の横のつながり（市役所各課と協議会等との関係）がないことであると感じていた。自治会を呼び、会議をするが、横のつながり（市役所の課と協議会で解決できる話）で、詳細を出せば、解決できることがある（例えば、人数・課題の整理）（70歳以上・男性）
- 理解できなかったことや、レジュメに載っていて話されなかったことは、帰宅して再読します（60代・男性）
- まちづくり、地域づくりに関する内容、考え方、課題等が整理できてよかったです。一方、具体的事例をより多く出していただければ、もっとよかったです（50代・男性）
- 自治基本条例の必要性や課題等を短時間にわかりやすく説明していただきました（30代・女性）
- あまりよくわからなかったが、これから先が大きく変わっていくのだということを感じ、今後勉強したいと思う（60代・女性）
- 講演も良かったが、レジュメが配布されたので、くわしく検討するのに役立ちました（70代・男性）
- 条例の仕組みが大変わかりやすかった（40代・男性）
- 今後、条例のアピールの仕方が問題であると分かった。市民参加、協働する議論の場所等が問題であることがわかった（60代・男性）
- 理想の部分が多く、市民の意識を高めていくには、長い年月がかかると思うが、市が中心となって市民の各方面の声を聴き、それを吸い上げて条例を発展させてもらいたい（70代・男性）
- コミュニティの再生は、本当に同感です。助け合い、支え合って生きていくことが、昔は普通にあったが、現代の時代にはなぜか薄れているような気がします（60代・女性）

- 短時間であり、レジュメがあったとはいえ、内容が多く、事前に資料があればよかった（70代・男性）
- 資料内容が重要であり、時代の変化に対応することが伴う。特にコミュニティづくりが必要（60代・男性）
- もう少し時間があると大変良いと思います（60代・男性）
- より多くの市民に関心を持ってもらうためには、身近な所（例えば自治会単位）に説明していくことも必要だと思う。「コミュニティは人間性を回復する場所である」を実現できたらいいと思いました（60代・女性）
- 何事にも当たり前のことが当たり前でなくなっているの、それをどうしたらよいか。茂原に関しては、よく言えば個性豊か、悪く言えばバラバラ。文化、歴史を大切にすることが、人と人をつなげるものになるのではないか（50代・女性）
- 内容が少し難しく、理解が中途です。横のつながりを付ける人（たち？）を見つけるのが大変。一時的に盛んなまちではいけない。長続きする取り組みを希望する。資源については、高齢者であっても、人的な資源は茂原に多い（60代・男性）
- 話が総花的であった。もう少しテーマを絞って重点的に説明してほしかった（60代・男性）
- 参考にはなったが、成功・失敗の事例をもっと聞きたかった（50代・男性）
- 何度も関谷先生の話を持聴しておりますが、いつも私のまちでも抱えている問題点は変わらず、大変勉強になりました（20代・女性）
- 今まで知らなかったことを教えていただいた。「開かれた市」という感じがしました。従来無関心だったのが残念（70代・男性）
- 講師の話は聞きやすかったが、あまり心に残らなかった（もうちょっと時間がほしい）（70代・女性）

■ 第二部（パネルディスカッション）について

- 福祉、ママ、若者代表の方々のお話をもっと聞きたかった。市、議会その他の方々には、自分が話すより、若者の話を聞く姿勢を身に付けてもらいたいと思った。これが変わらないと、茂原は変わらない（60代・女性）
- それぞれの立場で活動している任意団体があることを認識し、横の関係を拡充し、地域社会の課題として取り組む必要あり（70代・男性）
- 講師の話が長かった。もっとパネラーにしゃべらせて、そこから参加者の意見をもっと聞きたかった。市民からの意見聴取も難しいが、事前にその方向に持っていけるようパネラーと問題提起させて、参加者が参加したという気分が良いのでは。ここから始める第一歩を、初回から考えていくとよいのではないのでしょうか（60代・女性）
- いろいろな分野の方々の意見が聞けて良かったと思います（40代・女性）
- 問題点の指摘は良いが、今後、具体的な戦術について述べてほしい。参加者の構成は、自治体からは？議会側からは？市民サイドからは？自治会側からは？他の市民団体からは？（70代・男性）
- いろいろな立場の方からの意見を聴くことができたのでよかった（40代・女性）

- 各団体の立場からの「条例」について、話を聞くことができ、非常に興味深く聞くことができた（30代・女性）
- 関谷先生が話している時間が長かった。せっかくパネラーが参加しているので、パネラーの話をもっと聞きたかった（40代・男性）
- アイスブレイクで場の一体感が出たと思う（40代・男性）
- パネラーの方々の活動内容を広く知らせることによって、関谷先生のおっしゃった横のつながりができていくであろうし、いろいろな機会を通じて本条例を周知していくことが大切であろう（70代・男性）
- 子育てシェアについて、自治会に入っているのだろうか。お話にあった件は、自治会の人たちで助け合える問題なので、ご検討願いたい。もばら大学について、学習塾などをやってほしい。苦手科目をなくす。東京などでは、ワンコインで勉強、宿題を終わらせて、帰宅時間まで遊ぶ。とても良い考えだと思いました。外国人の方から言葉の交換などもよい考えですので、ご検討願います（60代・女性）
- プロボノの解説、議会報告会の開催、議会のインターネット中継をする方向であること、商工会議所の考え方、対応を聞いたこと（60代・男性）
- コーディネーターの関谷氏のリードが良く、パネラー8名の考え、方針の引き出し方がスムーズに感じた（70代・男性）
- いろんな立場で広い意味でのまちづくりを頑張ってくれているパネラーの皆さんを見て、市民協働がうまくいくかもしれないと思わせてくれました。副市長が言われたような、茂原市の地域まちづくり協議会へのアクションに期待します（50代・男性）
- パネラーの発言時間がもっと多いと良いと思います（60代・男性）
- 机上の理想論。出席者の意見を聴かない。講演の延長に過ぎず、パネルディスカッションではない（70代・男性）
- 若いパネラーの意見を大事にしていけたらいいと思いました（60代・女性）
- 子育ての助け合いは、茂原でもあった。そのような文化がないという発言は問題。もっと地域を知った上で発言してもらいたい（50代・女性）
- 若い人たちが参加できるまちづくりに興味を持てた。若い人たちを支えるまち、活性化するまちを希望する。子育てに支援を。高校・中学生とも協働しての取り組みを期待。農業者の参加もよろしく願います（60代・男性）
- コーディネーターの発言が多すぎる。パネリストの発言時間を多くとったほうが良い（60代・男性）
- 4問の質問をして、参加者の協働意識を引き出してくれた感があってよかった。関谷先生のコメントも良かった。勉強になった。ただ、時間が若干長かった。パネラーの話をもっと聞く時間がほしかった（50代・男性）
- 渋沢・秋葉両氏の話がもう少し聞きたかった。短かったが良かったと思います（70代・女性）

■全体について

- できればテーブルがほしかった。落ち着かない椅子で寒かった（60代・女性）
- 今の政治に理解ができない。憲法第9条は変えるべきではない。世界を見て、日本、自分を見つめる。情報を得る。税金の使われ方、教育が大事。真面目に生きていく（60代・女性）
- 基本条例を見たのは今日初めてであり、今後のことに照らし合わせながら、検討していきたい。わが自治会の内容で言うと、小学生1人、中学生2人。60歳以上が70%となっており、共助を考えることが難しく、まず自助を確立した上で、共助に向かうべきであろうと考えています。自治会総会には99%出席し、総会后4時間くらい懇親会を行い、防災及び自宅の問題等の話ができている。これからは、介護についての問題を中心にしていきたいと思っています（70代・男性）
- 今回はまちづくり条例の成立を記念してのフォーラムであったが、議会基本条例の成立を記念しての市民への説明会も実施していただきたい（70代・男性）
- このようなフォーラムを次回も行ってほしい（60代・男性）
- お金をかけないまちづくりに専念してください。気配り、助け合い、仲良く生きていく。お金は正しく使う。人として正直に活動してください（60代・女性）
- 活動は、継続してこそ意味があると思う。次回があるならば、茂原樟陽高校がまちづくり、地域貢献活動をしているので、高校生を招いてのフォーラムにしてみたらどうか（50代・女性）
- 子育て中のママに参加してもらい、子育てをテーマとしたフォーラムの実施を希望します（40代・男性）
- 関谷先生のご指摘にいつもありますが、なかなか自分の得意な分野には注力しますが、横の関わりやつながりを持つのはなかなか難しいので、ぜひこの条例を機に、各民間団体と自治体が協働して発展されることを願っています（20代・女性）
- 参加させていただいてよかった（70代・男性）

